



# でらボラNAGOYA通信

2016年 3月号

**悪夢のようだった東日本大震災から5年。  
何が変わり、何が変わらないままなのだろうか。**

## ○変わらず聞き続けていく

福島第一原発の事故から2ヶ月が経った頃、「年を取っているから福島へ行こう！」と決めて現地支援へ向かった。南相馬市の原町別院では前住が避難先から帰ってみると、「聞いて欲しいことがある」と入れ替わり立ち替わり来寺する人たちがいたそうだ。それ以来、毎日来られる人の話を聞く日々で、前住職から「俺自身も誰かに聞いてほしいんだ」と言われ、半日話を聞かせていただいた。



笑顔で答える北條さん

津波に手をつないでいた孫がさらわれ、自分だけが生き残ったことを悔やんでいるおじいさん。生まれた頃から生活を共にしてきたウシやブタを置き去りにしたまま避難生活場所へ移動させられた男性。そして「今はたくさんボランティアが来てくれてありがたいけど、そのうち皆、忘れていくんだろうな」というおばあさんのつぶやきを聞いた時、「俺は忘れないよ」と思った。

会う回数を重ねるたびに親しさも増し、いつしか友のような存在になり、それゆえに、教えられる苦しさ悲しさが一層わが身に突き刺さってくる。

復興がどれだけ進もうと、たくさんの苦しみ、悲しみを聞かせていただき、向かい続けていくしかないという覚悟は、震災直後から変わらず持ち続けている。

(でらボラNAGOYA 北條 義信)

## ○復興する町に 取り残される人の思い

震災以来、目に見えて変化しているのは**仮設住宅の数の減少**です。大野台第7仮設では200軒から70軒に、新地でも9軒から2軒に減りました。震災直後は誰もが同じ境遇、同じ思いを共有していたが、時間の流れとともに置かれている状況に個人差があらわれてきました。そして、皆が変わらないのは**故郷への思い**です。

故郷へ帰る目途が立たないおばあちゃんが、浪江に帰りたいたいという思いを歌った「ふるさと浪江」を仮設住宅で歌われていて胸が痛みました。確かに復興は確実に進んでいると思いますが、かつての故郷を失った傷はたやすく癒えるものではないのだと改めて思います。



(でらボラNAGOYA 藤井 千龍)

「ふるさと浪江」が仮設住宅に悲しく響き渡ります。

## ○家族と故郷を守り抜きたい



5人の子どもたち。この子たちの笑顔がなければ耐え抜けなかった。

震災以後、福島から名古屋へ自主避難して5年。  
変わったことは、子どもが大きくなったこと。  
小学生だった娘も中学生になり、名古屋で生まれた男の子も4歳になりました。名古屋を終の棲家とする決意がようやく出来、生活の基盤を整え始めています。



福島県飯館村。  
中央の黒い山は除染作業で出た放射性廃棄物を詰めたゴミ袋です。

変わらないことは、やはり福島への想い。先月、5年振りに福島を訪れましたが、変わり果てた故郷を見て、寒気と怒りがこみ上げてきて、なぜ私が愛した福島がこんな姿にならなければいけなかったのか、胸が苦しくなりました。

福島滞在中、至る所で線量を計ってみましたが、放射能の存在が確かにある事を目の当たりにしました。私はこの放射能があるから大好きな故郷を捨てて名古屋へ自主避難をし、子供達に辛い思いをさせて、不自由な

生活のなか、裁判を続けなければいけないのだと再確認しました。もう忘れてしまいたいと思う時もありますが、心を奮い立たせ、避難者の変わり得ぬ思いを伝え続けていきたいと思います。

(福島から自主避難をされた 岡本早苗さん)

## ☆でらボラNAGOYA会員 募集中!

現在約50名の会員で活動しておりますが、もっと多くの方が東北の人々とつながってほしいと考えています。

- ★いっしょに東北へ行って、現地の方々と交流しませんか？
- ★東北へメッセージや物資を送りませんか？
- ★そのほか、ともに喜びを感じる企画を考えてみませんか？

【入会資格】不要です どなたでもご参加ください

【会費】不要です

【申込方法】下記のアドレスが毎月の「一如さん」で募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】E-mail [derabora758@gmail.com](mailto:derabora758@gmail.com)

## ☆これからの活動予定

【東北ボランティア 寺田チーム】3月16日～19日 岩手県を中心とした各地  
【廣徳寺 奉仕研修】3月15日 清掃奉仕・おみがき・座談会など

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記のお座までお振込みください。

【お座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替お座 お座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋